



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1697号

事務所 静岡県三島市大社町17-4
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL(055)972-2122
会長 亥角 裕巳 幹事 井上 幸子



広重版画より 三島 朝霧

第1759回例会

2008.9.4晴

司会

森崎祐治君

国歌斉唱

四つのテスト

ロータリーソング

「奉仕の理想」
指揮 前田房江君

会長挨拶

会長 亥角裕巳君

今週ははじめ、首相が突然辞意を表明し、またまた政治の空白がつづきそうな気配です。昨年の安倍さんに続き福田さんの会見の様子は、目にも力無く疲れ切った様子でした。二代目の淡泊さと言えばそれまでですが、一国の首相の重責・プレッシャーは想像に絶するものがあるのだらうと思います。国も企業も、組織のリーダーに要求される要素として信念に基づくビジョンと識見、それとどんな状況でも動じない心のタフネスが必要であると改めて感じます。

二代連続の突然辞任の最大原因は衆議院と参議院の「ねじれ」であると思います。政治は話し合いが原則であるべきところ、審議拒否と強行採決の繰り返しでは、とてもまともな議会制民主主義といえませんが、その政治選択をしているのも我々国民であり、漂流し続ける日本政治のマイナスも当然、選択した国民が受け入れなければならないと思います。

世界中が経済問題、民族問題、エネルギー・食糧・環境問題で危機に瀕している状況のなかで、戦後60年以上経過した日本の議会政治も、党利党略をこえ真の討論、議論により政策を深め成熟した本当の民主主義を実現し、国民の幸福を築いてほしいと思います。

総裁選につづき解散、総選挙も予想されますが、すくなくとも政治を私物化し、功名心を満たす道具にするような政治家はご遠慮願いたいと思います。

“こんにちは、ようこそ”

ビジター 村上伝右衛門君(三島RC)
渡辺妙子君(三島RC)

-以上2名-

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	42/52	80.77%	48/52	92.31%
今回	39/52	75.00%	会員総数	54名

欠席者 岩崎君、遠藤(正)君、鈴木(貞)君、
諏訪部(照)君、瀬川君、田熊君、千葉君、
野口君、野田君、望月君、柳田君
(鈴木(敏)君、米山君)

幹事報告

幹事 井上幸子君

- ① 今月は新世代の為の月間です。三島市幼年消防クラブより、寄付に対する御礼のご挨拶がございました。
- ② 社会福祉法人見晴学園より“みはらしフェスティバル”への協力の依頼が届いております。奉仕プロジェクト委員会を中心に皆様のご協力をお願いします。
日時:10月5日(日)10時20分～14時50分
- ③ 地区大会開催のお知らせがございました。
日時:11月15日(土)・16日(日)
場所:ホテルセンチュリー静岡
- ④ 米山寛会員より病氣療養の為、休会届が提出されました。鈴木敏夫会員より8月19日に退院されました。旨連絡がありました。

2008～2009年度
国際ロータリー会長
李 東建(D.K.Lee)

夢をかたちに

おめでとう

会員誕生日 鈴木(正)君・平野君
入会記念日 遠藤(真)君・黒田君・
渡辺君・矢岸君・
室伏君・諏訪部(敏)君
結婚記念日 佐々木君
奥様誕生日 栗原君・勝間田君・飯田君・
諏訪部(照)君・室伏君・野口君

委員会報告

★奉仕プロジェクト委員会

副委員長 千葉慎二君

8月23日(土)にイトーヨーカ堂三島店にて、静岡県沼津赤十字血液センターのご指導の下、献血活動のお手伝いをしました。生憎の小雨混じりの天候ではありましたが、長時間にもかかわらず我が西クラブから16名もの有志の方々の熱心なお手伝いにより、85名の受付、63名の献血実施(200cc10人、400cc53人)という、大きな成果を納めることができました。ご協力ありがとうございました。



卓話

不肖 石井良衛が思うこと

石井良衛君

『あなたとは、違うんです。』先日の辞任会見。福田首相が最後に吐いたこの言葉が、はやくも今年の流行語大賞になるのでは?と新聞は伝えています。テレビを通して、何度もリポートされる『あなたとは、違うんです。』面白く、おかしく、滑稽に。テレビは、ただイタズラにその言葉と福田首相の苦虫をつぶしたような表情を繰り返し放送しました。でも、ふと思うのです。これでいいのかと?

1957年、こんな流行語がありました。『一億総白痴化』これは、当時、お茶の間に定着しようとしていたテレビについて、社会評論家である大宅壮一氏が語った言葉です。大宅氏は、こう警鐘を鳴らしました。『テレ

ビは質を考えず、視覚への刺激の強さばかりを追求している。そんな傾向が続けば人間の最も卑しい興味をつつく方向に傾いていく結果にもなる。テレビとは、非常に低俗なものであり、テレビばかり見ていると人間の想像力や思考力を低下させてしまう。』と。

私は、8年間、テレビのスポーツ記者として働いていました。テレビには、視聴者に不快なイメージを与えぬよう放送禁止用語というものがあります。百姓という言葉は、その仕事に従事する方を呼び捨てにすることになるからお百姓さんや農家でなくてはいけない。丸坊主、坊主頭という髪型をさす言葉は、僧侶を冒とくするものだから、丸刈り頭にしない。スポーツ選手が「坊主頭にしました。」という言葉を出しても、テロップは「丸刈り頭にしました。」でなければいけない。たしかにそれも大切なことかもしれません。しかし、現在のテレビというメディアにおいて、一番大切なものとは何か?私はこう思うのです。それが真実かどうか?と。

私がかつての頃、ニュース番組は20分ぐらいだったと思います。しかし、現在では、朝のニュース番組から3時間もあるのです。枠が広がれば、それだけ埋めなくてはいけない部分が増えてきます。また、視聴率も上げなくてはなりません。面白おかしく、そのテーマにあてはめるように、まるでパズルのようにその作業は進行していきます。納豆でやせるというテーマ。いざ医師から、コメントをもらおうとき、そのテーマにそぐわなかったら、その医師の声のボリュームをしばり、納豆はやせる効果があるんです!!とテロップを大きく載せちゃおう!そんなディレクターが軽はずみに作った番組を見て視聴者はスーパーに走ります。おかげで納豆は品切れです。怖い世の中です。少々、愛するテレビについて悪口を書いたかもしれません。しかし、テレビとはそれだけ人々を動かすことができる大きなものであることに間違いはありません。一度で人々に感動を与えることができる。人々がハッピーになる番組が増えていくと信じています。

そして、現在、私は介護という仕事についています。人と人が真正面からぶつかりあうことが可能な空間で私は今日も働いています。そこは、まやかや嘘が通用しない現場です。よく俳優さんたちが、テレビじゃなくて、舞台をやりたい!と言う気持ちに私はわかります。テレビの向こう側にしか存在しなかった人たちが、今、目の前で笑ったり、泣いたりしています。「楽しかった!また来るね!」利用者さんは、そう言うと帰っていきました。

デイサービスの仕事が終わるとぐったり。夜には強かった男が今では9時過ぎには、寝てしまっています。でも、それこそ正面から人と向き合っている証拠と思って自分自身に満足しています。デイサービスという現場で味わう何とも言えないこちよさ。こういうのを、俺は求めていたのかなあ…

※紙面の都合でスマイルは次週に掲載します。

(週報担当:鈴木郁夫)